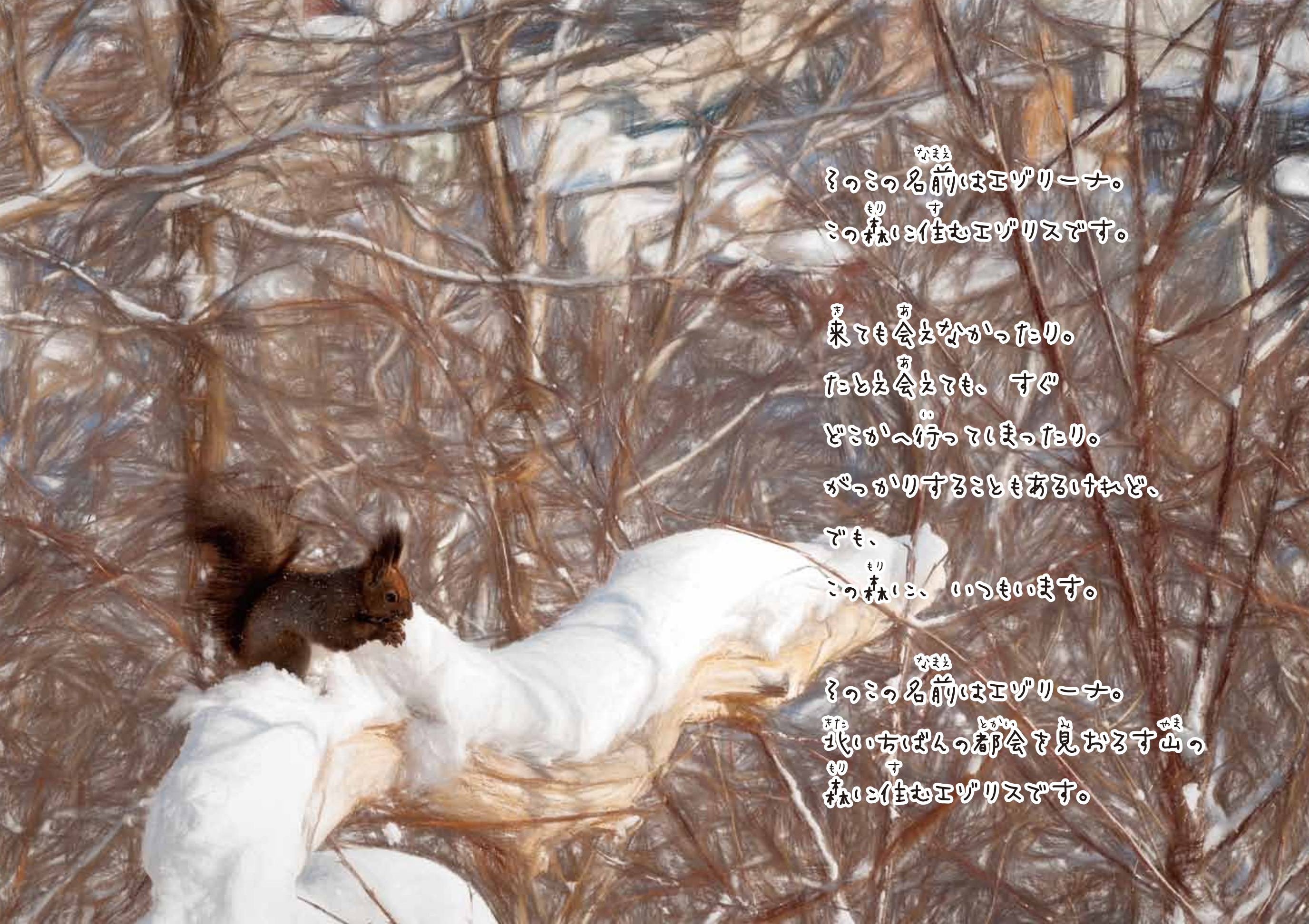




カジカジ、ゴリゴリ、エゾリーナ

文：久保麻紀 絵：久保ヒデキ

A squirrel with reddish-brown fur is perched on a snow-covered branch in a winter forest. The background is filled with bare, brown tree branches and a soft, hazy light. The squirrel is looking towards the right.

この名前^{なまえ}はエゾリーナ。
この森^{もり}に^す住むエゾリスです。

来^きても会^あえなかつたり。
たとえ会^あえても、すぐ
どこかへ行^いってしまつたり。
がっかりすることもあるけれど、

でも、
この森^{もり}に、いつもいます。

この名前^{なまえ}はエゾリーナ。
北^{きた}い方^{はう}ばんの都^と会^{かい}を見^みおろす山^{やま}の
森^{もり}に^す住むエゾリスです。



どの季節も太陽は、
この森のめざまし時計。

ひと粒の車卵陽のしずくが、
みるみる広がる、
凍える眠りを溶かします、
ぽっと、しずかに、ゆっくりと。

濃い緑から青紫、そして澄んだ水色へ、
どんどん明るくなる空の下、
エゾリーナもめざまします。

わたしがそばを通りぬけると、
耳毛がひらっ、尻尾がふわっ。

あたら いちにち あいず
新しい一日のはじまりの合図です。



つめ　　う　　き
冷たいわたしを突っ切って、
エゾリーナはもり　　か
森を馬匹います。

きょう　　じぶん　　いのち
今日の自分の命をつなぐ
きょう　　た　　もつ　　え
今日の食べ物を得るために。

い　　せ　　お
行く背を、わたしはぐっと押します、
だって、わたしはかぜ
風ですから。

ほし
この星に、
くら　　う　　ころ
この空が生まれたときから、
せかい　　めぐ　　もり　　ふ
世界を巡り、この森に吹く
かぜ
わたしは風です。

ゆき もり か
雪の森を馬匹するのには、
よ あ すう じかん
夜明けからほんの数時間だけ。

あき う かく
秋に土埋めて隠しておいた
オニグルミヤコナラの実を、
さが み ほ
探して見つけて掘りだして、

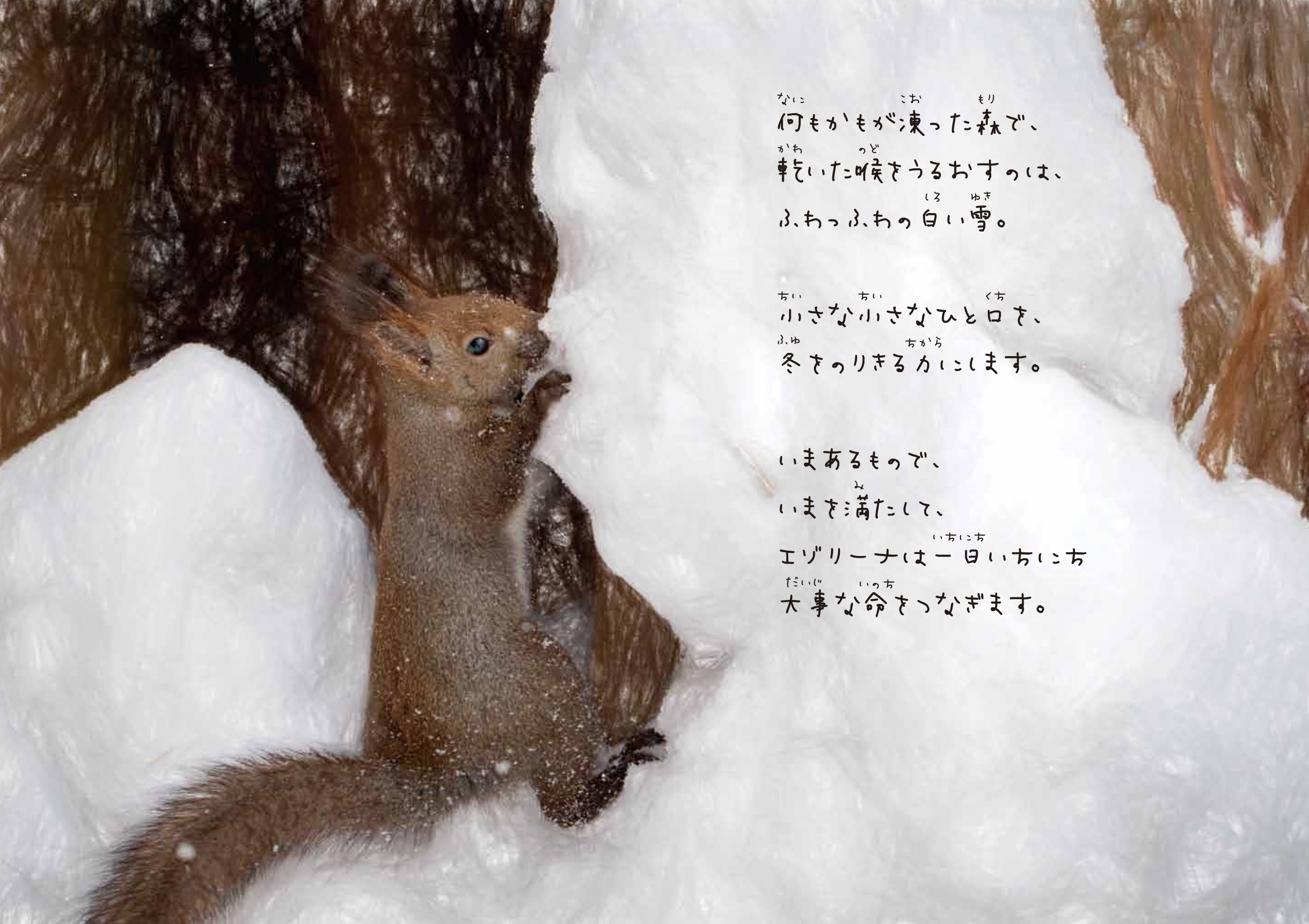
カジカジ、ゴリゴリ。

おいしい響きは、
わたしにとって森じゅうへ。

カジカジ、ゴリゴリ。

た お ねむ
食べ終わったらいっぱい眠って、
なが ふゆ
長い冬をのりきります。





なに　こお　もり
何もかもが凍った森で、
かわ　　っど
乾いた喉をうるおすのは、
　　しろ　　ゆき
ふわっふわの白い雪。

ちい　　ちい　　くち
小さな小さなひと口を、
ふゆ　　　ちから
冬のりきるかにします。

いまあるもので、
いまを満たして、
　　いちにち
エゾリーナは一日いちにち
だいじ　　いっち
大事な命をつなぎます。

といて、おた^すいは^すいず^すつ、
春^{はる}を^も木^{はる}へ^{はる}運^{はる}びます。
注^しぐ^し陽^ひはあ^はた^はた^はか^はぐ^はなり、
残^{のこ}る^る雪^{ゆき}は消^きえて^きい^きって^て。

「春^{はる}です、春^{はる}です、春^{はる}ですよ！」
ご^ごめ^めず^ずん^んで^で唄^{うた}う^うのは、
青^{あお}や^{むらさき}紫^{むらさき}の^のエ^えゾ^ぞエ^えン^んゴ^ごサ^さリ^りた^たち。
べ^{はな}ル^{はな}み^みた^たい^いな^な花^{はな}び^びら^らを、
お^おた^たし^しも^も楽^{たの}しく^くも^も揺^ゆら^らい^います。

よ^よる^るは^は明^あけ、^ああ^あさ^さは^は来^きて、
冬^{ふゆ}は^す過^かぎ、^{はる}春^{はる}が^{おとず}ま^{おとず}た^た訪^とわ^われ^れま^ます。
い^いつ^つも、^たど^どこ^こで^でも、^だ誰^れい^いん^んで^でも。

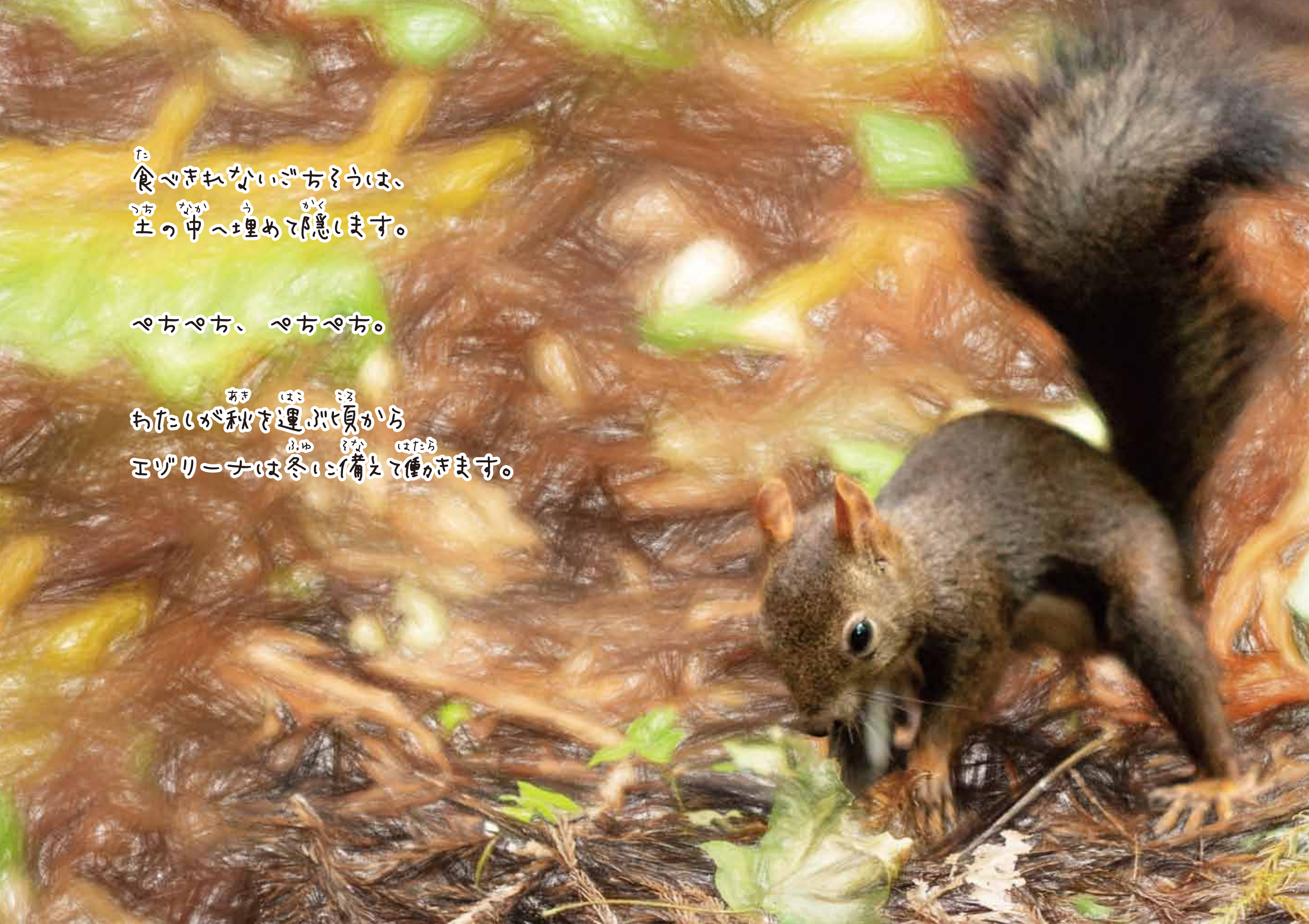




て 照る陽が緑を茂らせて、
ふ 降る雨が大地をうるおいて、
なつ 夏の終わりにオニグルミは実ります。



まつ だいこうぶつ
エゾマツの松ぼっくりも大女子物。
カジカジ、ゴリゴリ、
つぶ ひと粒だって残しません。

A close-up photograph of a squirrel in a forest. The squirrel is positioned in the lower right, facing left, and is actively burying a piece of food (possibly a nut or vegetable) into the ground. The ground is covered with a thick layer of brown, orange, and yellow fallen leaves. The squirrel's fur is a mix of brown and grey. The background is a soft-focus view of the forest floor with more leaves and some green plants.

^た食^べき^れない^ぎち^うは、
^{つち}土^{なか}の中^うへ^{かく}埋^めて^{かく}隠^ひします。

ぺちぺち、ぺちぺち。

^{あき}わたしが^{はこ}秋^こを^{はこ}運^こぶ^{はこ}と^{はこ}夏^{はこ}から
^{ふゆ}エ^{ふゆ}ザ^{ふゆ}リー^{ふゆ}ナ^{ふゆ}は^{ふゆ}冬^{ふゆ}に^{ふゆ}イ^{ふゆ}着^{ふゆ}え^{ふゆ}て^{ふゆ}働^{ふゆ}か^{ふゆ}ま^{ふゆ}す。



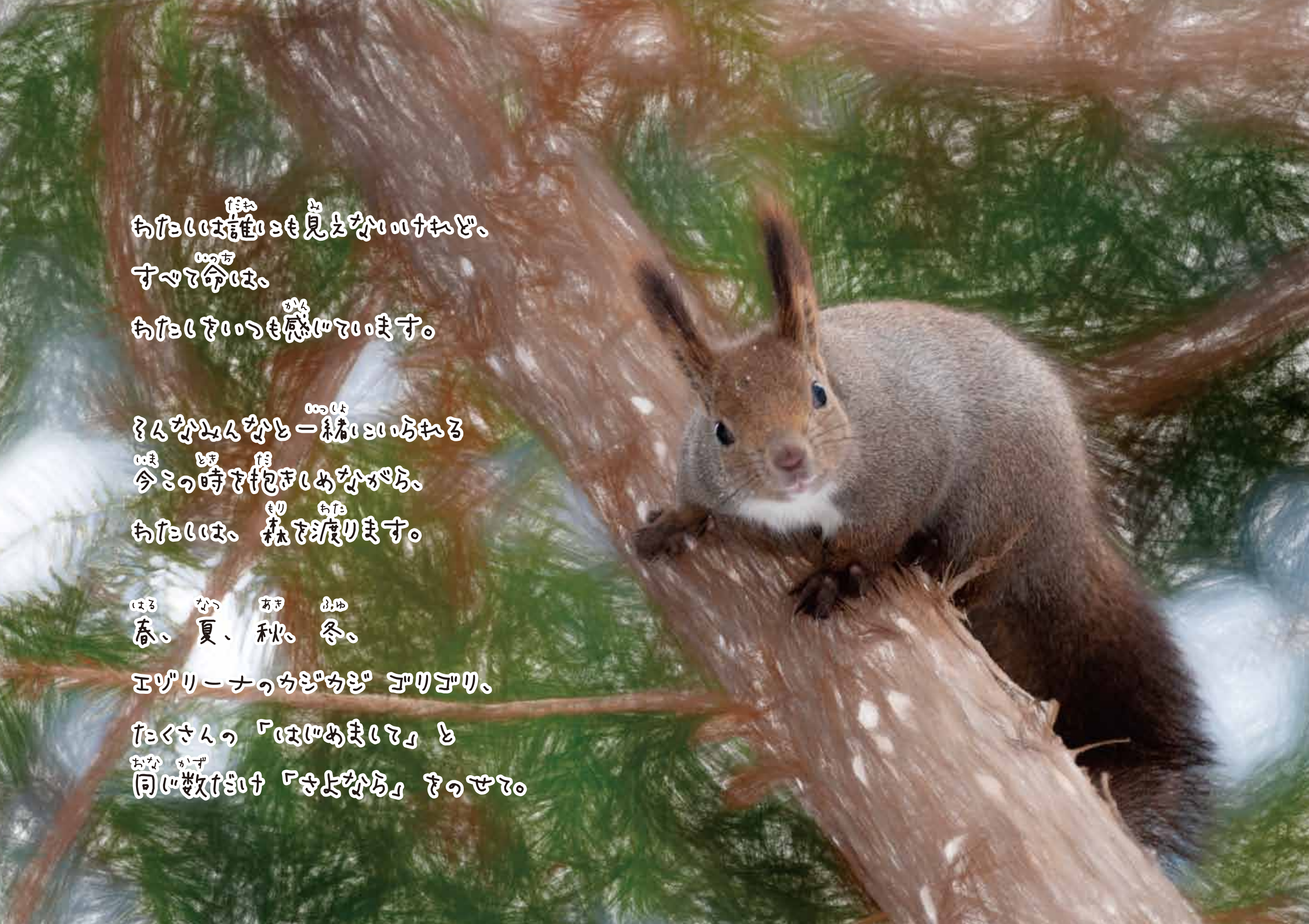
わたしは、また^{つめ}冷たくなって、
粉雪^{こなゆき}を躍^{おど}らせ森^{もり}を渡^{わた}ります。

雪^{ゆき}に^う埋もれた食^たべ物^{もの}を採^{さが}すのに、
エゾリーナはひと苦^{くるう}勞。

見^みつけたわづかなごちそうを、
カジカジ、ゴリゴリ。

おいしい、うれしい笑^{えが}顔^おを見ると、
なぜかしら？

わたしも、とっても、
うれしい気^き持^もちになりますよ。

A squirrel with brown and grey fur is perched on a thick, light-brown tree branch. The squirrel is looking towards the camera with its large, upright ears. The background is a dense forest of green pine trees, with some branches and needles visible in the foreground and background.

わたしは誰にも見えなかつたけど、
すべて命は、
わたしをいつも感じています。

みんなと一緒にいられる
今この時を包みしめながら、
わたしは、森を渡ります。

はる なつ あき ふゆ
春、夏、秋、冬。

エゾリーナのウジウジ ゴリゴリ、

たくさん「はじめまして」と

同じ数だけ「さよなら」をっせて。

わたしが夏を運ぶ頃、
運がよければ
森で会える、かも、かもしれません。

巣立つばかりのエゾリーナ。
産まれてまだ三か月くらいの
ちっちゃな子どもなんだけど、
自分の住む場所を自分でみつけ、
ひとりで食べて、生きています。

そのこの名前にはエゾリーナ。
カジカジ、ゴリゴリ、
食べています。
食べて、自分を、生きています。





いってきました。

カジカジ、ゴリゴリ、エゾリーナ
さく 久保 麻紀 え 久保 ヒデキ

平成31年(2019年)1月

発行 札幌市えほん図書館

札幌市白石区南郷通 1 丁目南 8-1 白石区複合庁舎 6 階

電話 :011-866-4646 ファクス :011-866-4600

<http://www.city.sapporo.jp/toshokan/ehon/index.html>

本書の著作権は、原作者に帰属し、全部又は一部を複写、複製、転記することを禁じます。なお、札幌市が行う作品の複製・配布に係る権利、展示会・ホームページ等での公開に係る権利及び加筆修正に係る権利（複製権、上映権、公衆送信権、伝達権、口述権、展示権、譲渡権、貸与権、同一保持権）は札幌市に帰属します。